

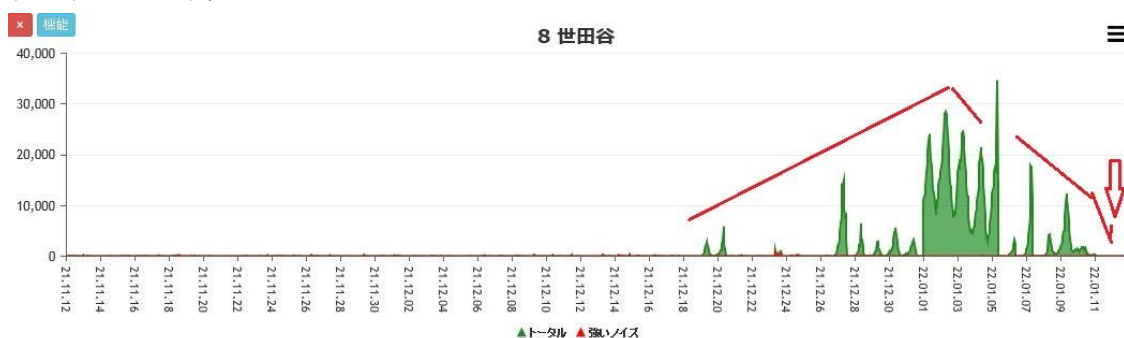
関東から中部の多くのデータがきれいに収束してきています。このまま行くと、ひとつには関東直下の M5 クラス位の地震が現在（1月11日現在）の低気圧が過ぎて、今夜あたりに発震する可能性が大きいと思います。しかし他方で、中部、東海地区の 浜北 017、浜北 355、長野安曇野、白馬、伊勢、三重志摩などのデータも減衰—収束傾向になっています。データ量を比べると中部、東海の方が関東の各地よりずっと大きくなっています。関東の場合、世田谷が Max40,000、五反田 80,000 位、なのに対し、浜北 017 は Max3,000,000 超、浜北 355 が Max500,000、伊勢 D が 150,000、と桁違いです。さらに関西の和歌山 A が Max200,000 ですが 長期に続いてきて、再度完全な収束に近づいています。

今回、関東と中部、関西のデータの収束のタイミングが似通っていることから 1 つの大きな地震の予兆の可能性もありますが、関東地区のデータがほぼ収束していることから、関東地区の M5 クラスが本日から 2 日間程度、その後中部、関西地区で M6 クラスの地震が遅れて発生する可能性が高いと考えます。

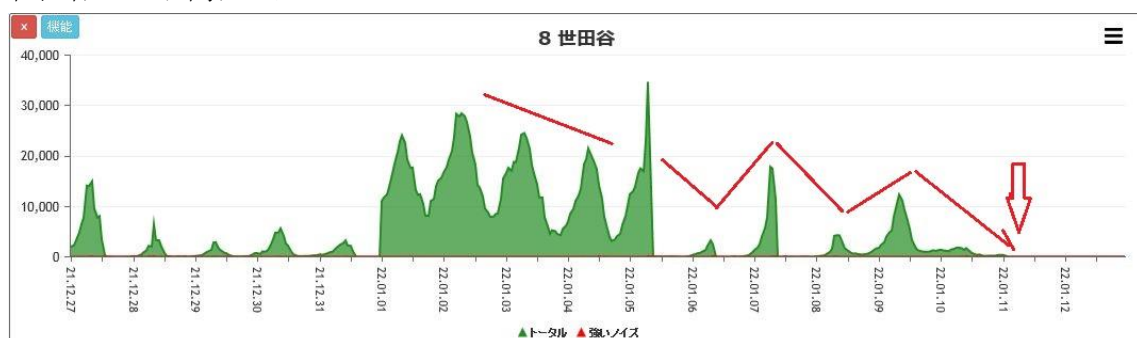
とりあえず 以下のように予想し、関連のデータを載せます。

- 1、震源：関東地方、地震の規模：M5 前後、発震予想日：1月11日より2日間程度
- 2、震源：中部東海地方（または関西）、地震の規模：M6 クラス、  
発震予想日：1月11日より4日間程度

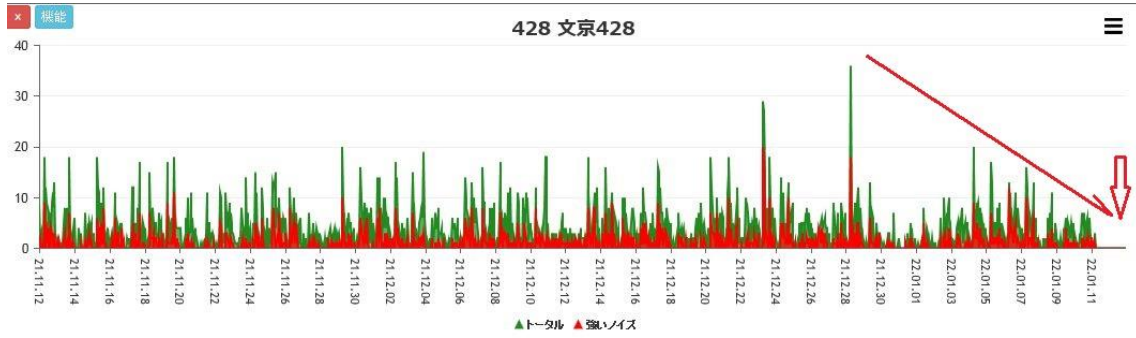
世田谷 60日間データ



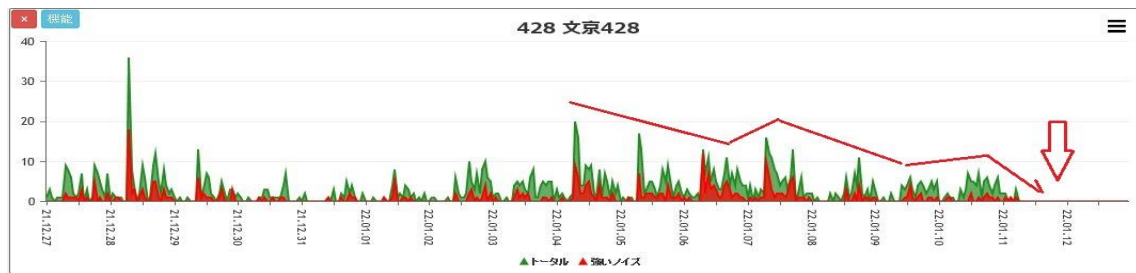
世田谷 15日間データ



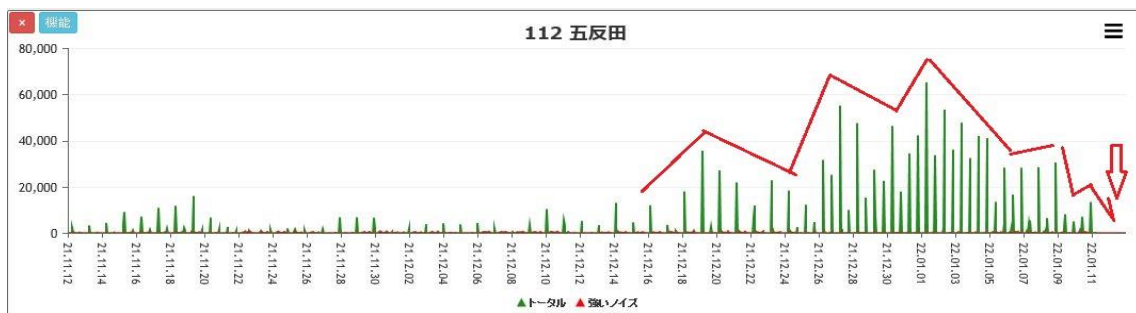
文京 60日間データ



文京 15日間データ



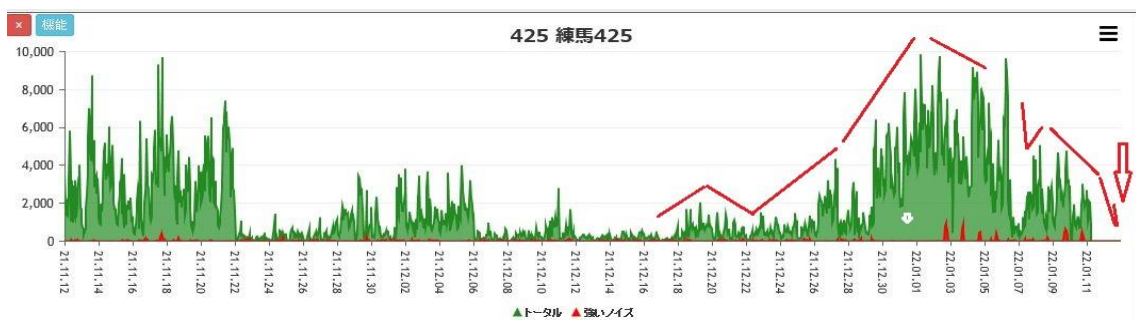
五反田 60日間データ



五反田 15日間データ



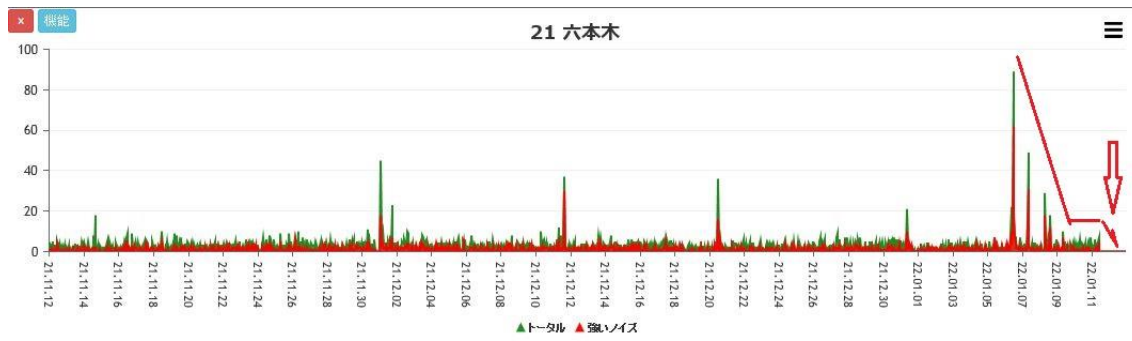
練馬 60日間データ



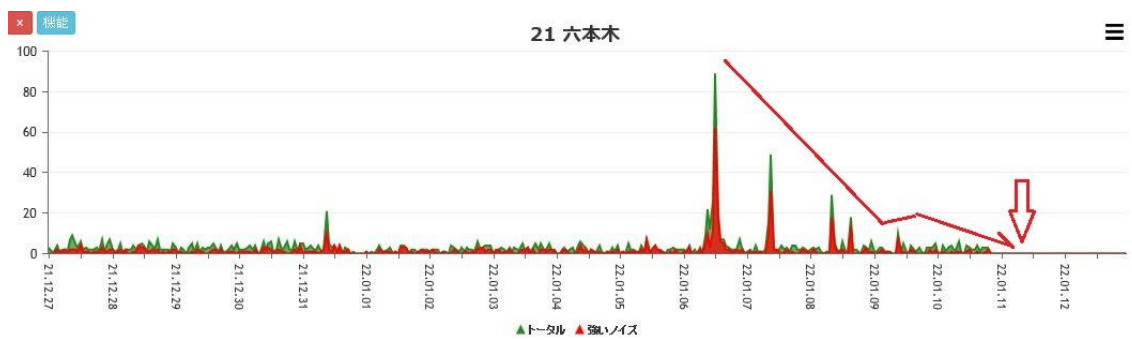
練馬 15日間データ



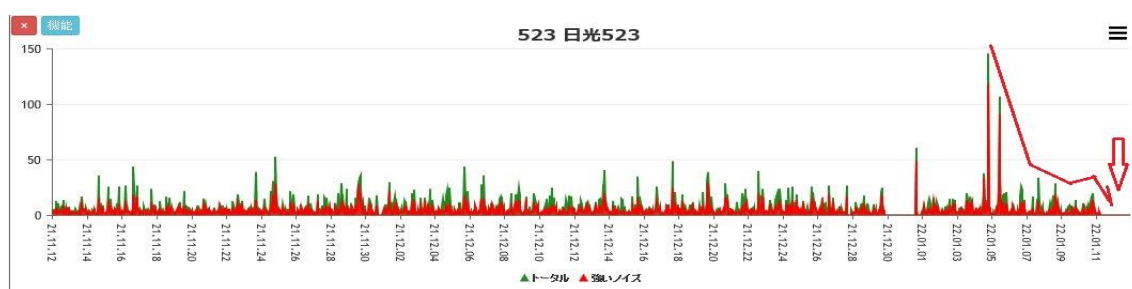
六本木 60日間データ



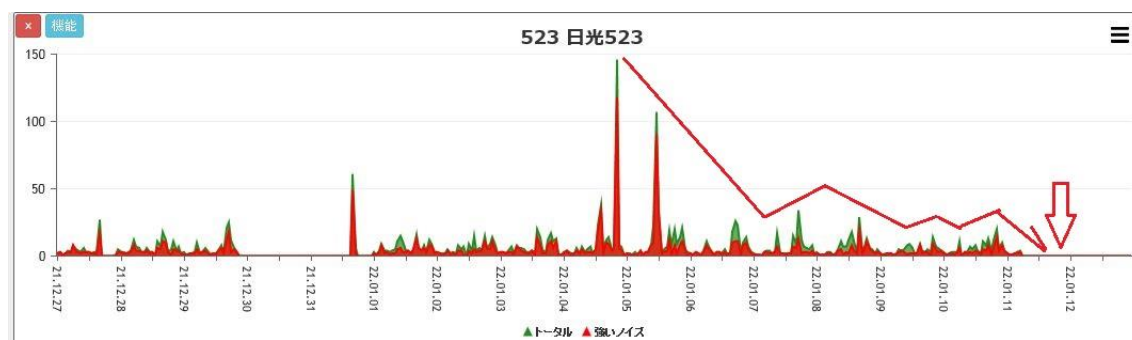
六本木 15日間データ



日光 60日間データ

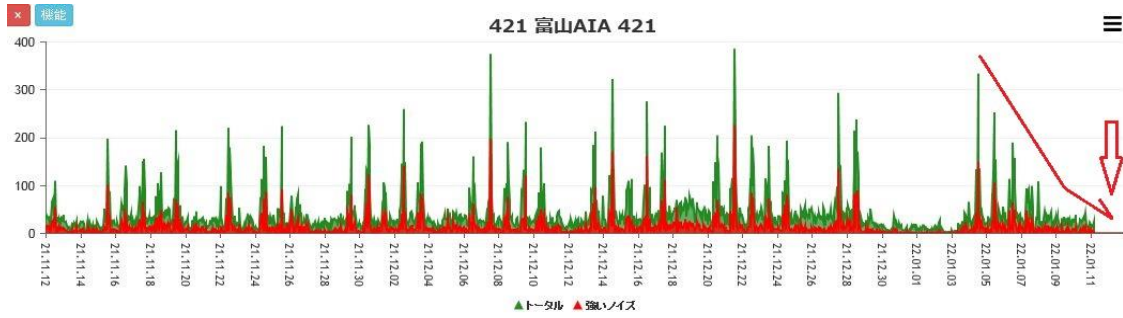


日光 15日間データ

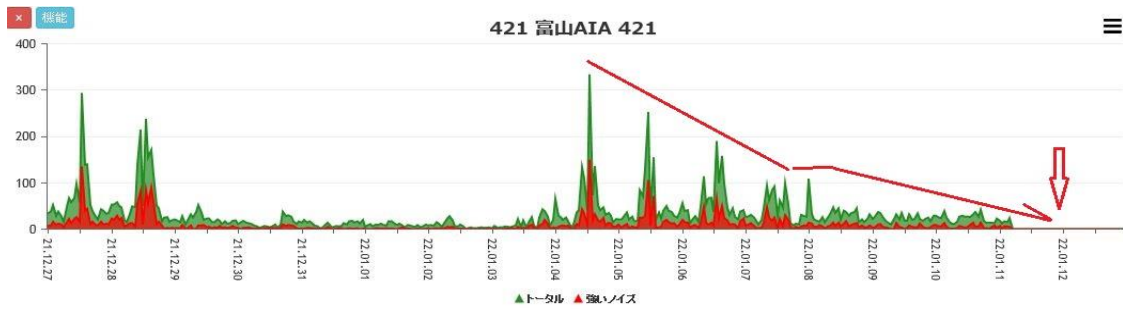


<以下、中部、東海地区の同期データについて>

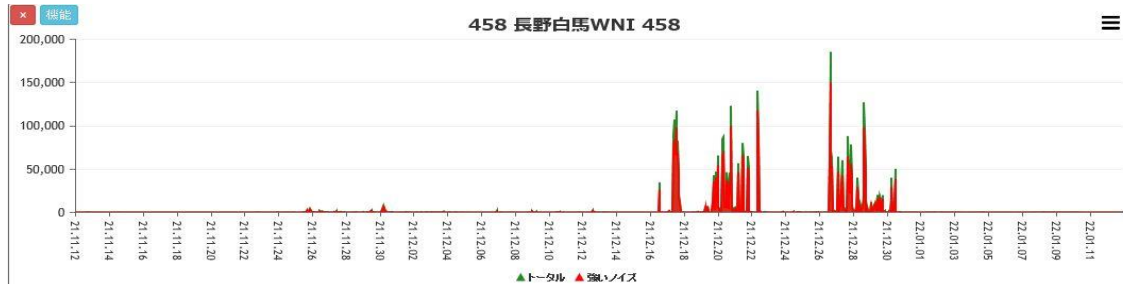
### 富山 60日間データ



### 富山 15日間データ



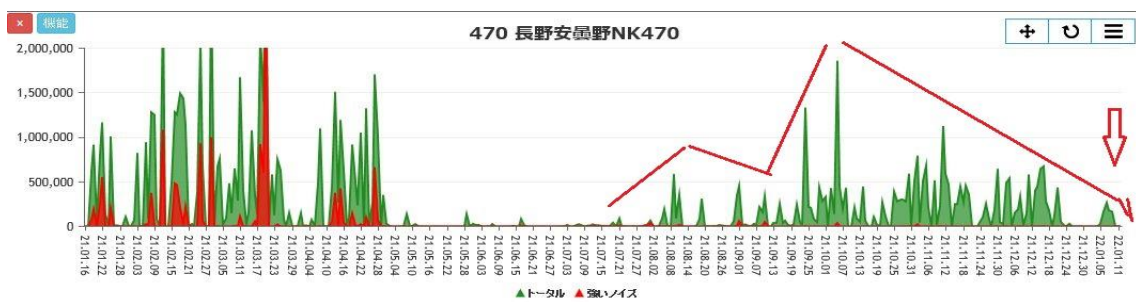
### 長野白馬 60日間データ



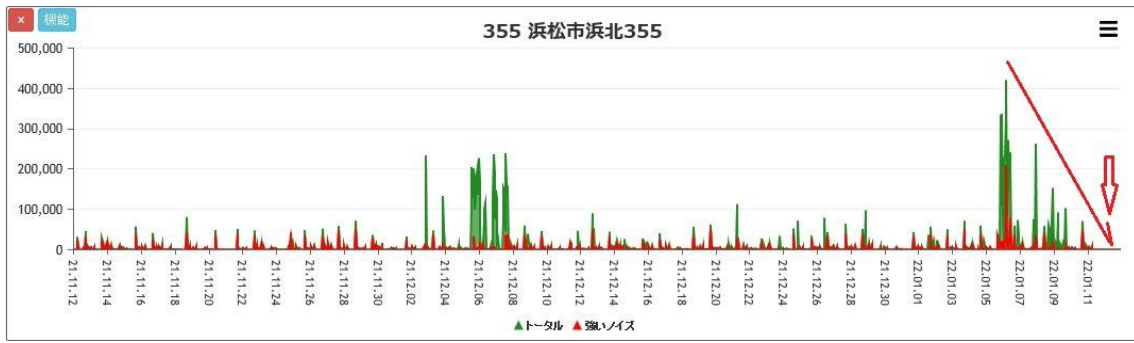
### 長野白馬 15日間データ



### 長野野安曇野 360日間日毎データ



浜北 355 60日間データ



浜北 355 15日間データ



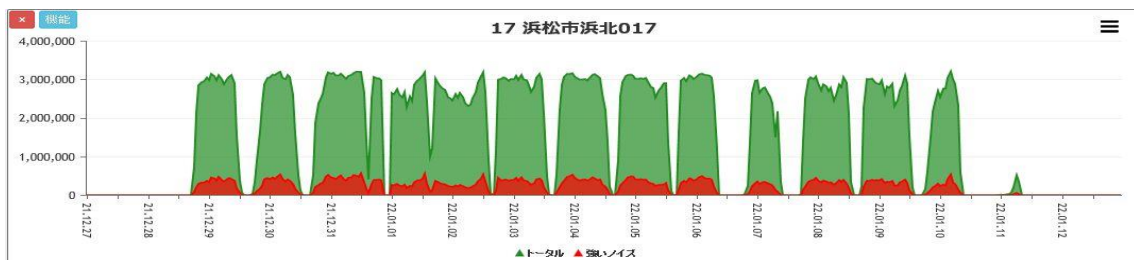
浜北 017 180日間データ



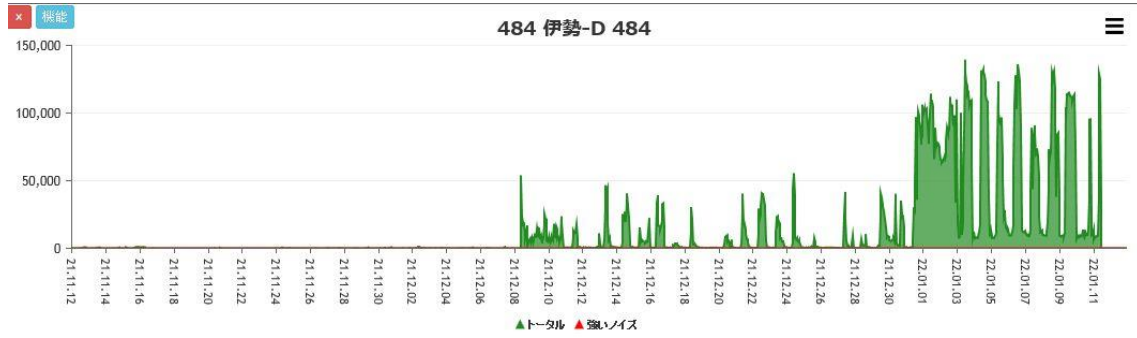
浜北 017 60日間データ



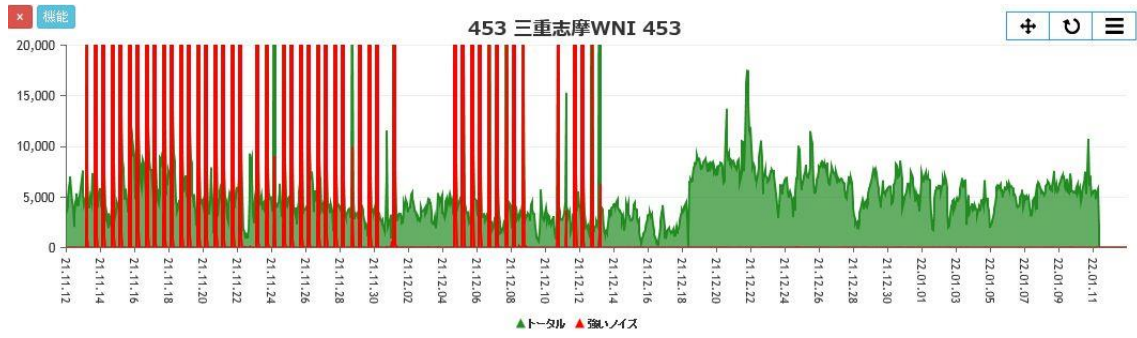
浜北 017 15日間データ



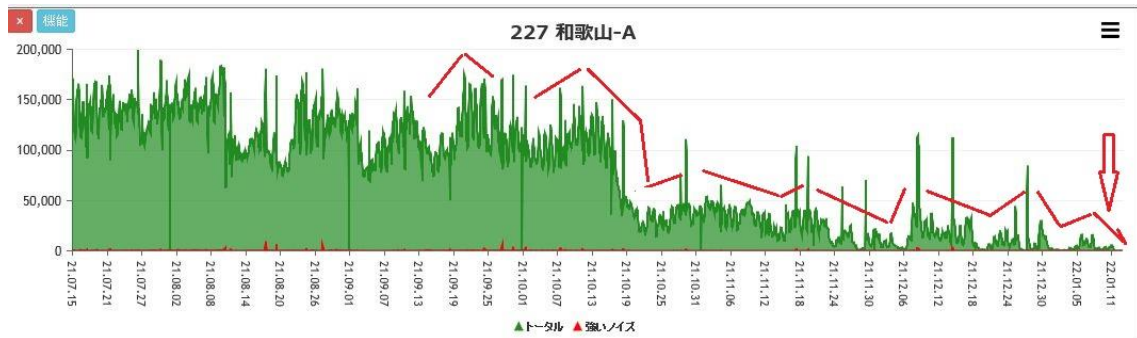
伊勢 D484 60日間データ



三重志摩 60日間データ



和歌山一A 180日間データ



和歌山一A 15日間データ

